

平成28年度 四国防災トップセミナー開催

テーマ:大規模災害に向けて今備えるべきこと
～”必ず来る”今だからこそ出来ること～

目的: 四国内の市町村長と四国南海トラフ巨大地震対策戦略会議メンバーが一堂に会し、防災に関する講演の拝聴や意見交換等を通じて、見識を深め、地域防災力の向上を目指す。
(平成12年度から開催しており、今回が17回目の開催)

■日時: 平成29年1月17日(火) 14:30~17:15

■場所: 四国地方整備局 災害対策室(高松サンプラザ合同庁舎 13階)

■出席者: 四国内92市町村(内、首長67名 出席率 71%)

四国南海トラフ巨大地震対策戦略会議メンバー(49機関) 等
合計 約 320名

■基調講演

◆基調講演【1部】

『東日本大震災と熊本地震災害を教訓とした南海トラフ巨大地震への備え』
東京大学 地震研究所

地震予知研究センター長・教授 平田 直氏

◆基調講演【2部】

『「あの日を忘れず ともに未来へ」～東松島一心～

東日本大震災の対応と復興まちづくりについて』

宮城県 東松島市長 阿部 秀保氏

■意見交換会

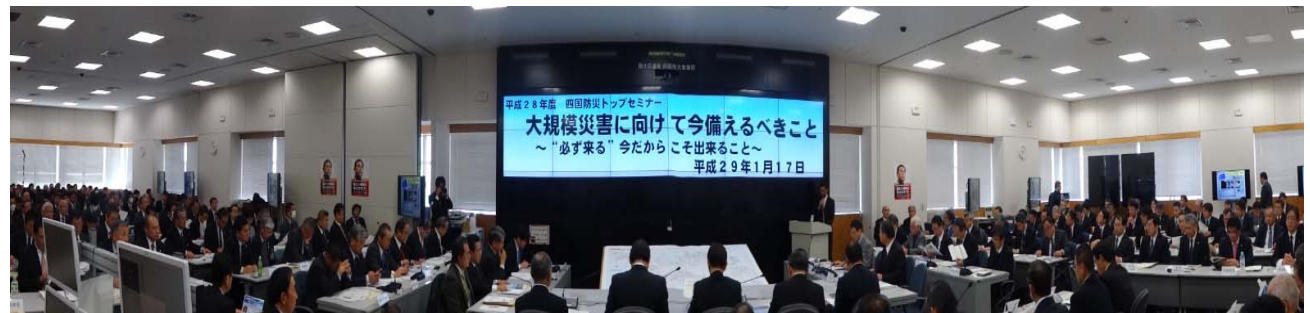
四国において懸念される『南海トラフ巨大地震』の被害想定、災害を軽減する備え、並びに東日本大震災を教訓としリーダーとしての基本姿勢、住民主催の復興まちづくりについて意見交換をおこないました。



平田 東京大学地震予知研究センター長



阿部 宮城県東松島市長



トップセミナー実施状況